

お取引先様 各位

白銅株式会社

日本軽金属株式会社及び日軽金アクト株式会社製品の検査成績表記載内容変更に関するご連絡

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2023年12月13日及び14日に日本軽金属株式会社（以下、「日本軽金属」）および日軽金アクト株式会社（以下、「日軽金アクト」）から、別紙1.及び別紙2.の通り、検査成績表（材料検査成績書）の記載内容が一部変更されるとの報告を受領しました。

弊社と致しましては、この報告を受けまして、下記の通り対応させていただきます。お客様にご迷惑とご心配をおかけしますこと、お詫び申し上げますとともに、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 検査成績表（材料検査成績書）記載の変更内容

現行：検査成績表（材料検査成績書）欄外 「(*) 本製品は、JIS H4000 に定める正しい方法で試験し、JIS 規格値を満たしております。」

変更：検査成績表（材料検査成績書）欄外 「(*) 本製品は、JIS H4000 で要求されている製品寸法・機械的性質・化学成分の規格値を満たしております。」

2. 変更時期

日本軽金属製品（アルミ板）：2024年1月15日以降、製造完了する板製品より適用

日軽蒲原製品（アルミ押出）：2024年1月1日発行分より変更予定

3. 検査成績表（材料検査成績書）記載変更の理由

日本軽金属および日軽蒲原では板製品用のスラブおよび押出型材用のビレットとして、一部海外を中心とした外部購入品を使用しています。この海外等購入スラブおよびビレットの化学成分については、個々に定められた規格に基づいて試験・検査が実施され、検査成績表（材料検査成績書）にはこの分析データを転記していました。

一方、板および押出製品の JIS では、引用規格である JIS H1305 に基づいて測定することが定められているため、検査成績表（材料検査成績書）の補足説明を変更すべきとの判断に至ったとのことです。

4. 海外等購入スラブ・ビレットの化学成分分析

購入先で個々に定められた規格に基づいて試験・検査が実施されているのに加え、日本軽金属グループとして購入先のスラブ・ビレットのサンプリングによる化学成分分析を実施し、分析値に差がないことを確認し、製品の安全性には影響は無いと判断したとのことです。

2023年12月21日

5. 弊社の対応

化学成分値に相違が無く、製品の安全性にも影響がないことから、検査成績表（材料検査成績書）の変更を受け入れるとともに販売を継続いたします。

以上

別紙1. 名古屋工場アルミ板製品 検査成績表記載内容の一部変更について

別紙2. アルミ押出製品 材料検査成績書記載内容の一部変更について

2023 年 12 月 14 日

白銅株式会社 御中

日本軽金属ホールディングス株式会社
製品安全・品質保証統括室



日本軽金属株式会社
板事業部



名古屋工場アルミ板製品 検査成績表記載内容の一部変更について

貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社名古屋工場に於きましては、2021年5月14日付でのJIS認証取消し後、旧JIS製品の検査成績表の規格欄に『シヤイカク』と記載し、検査成績表欄外に（*）として、「本製品は、JIS H4000に定める正しい方法で試験し、JIS規格値を満たしております」ことを補足説明させていただいております。

この度、本年3月29日に公表した「当社グループの品質等に関する不適切行為に係る調査結果および再発防止等について」のその後の是正活動において、海外からの購入スラブにおいて成分の分析方法がJISに定められた試験とは異なる海外規格に適合した分析方法となっていることを確認したため、材料検査成績書の記載について以下の通り変更することといたします。

お取引先の皆様におかれましては、ご不便をおかけし申し訳ございませんが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます

記

1. 変更する補足説明記載について

<対象>

現行：規格欄 「シヤイカク（*）」

検査成績表欄外「（*）本製品は、JIS H4000 に定める正しい方法で試験し、JIS 規格値を満たしております。」

変更：規格欄 「シヤナイカカ（＊）」

検査成績表欄外「（＊）本製品は、JIS H4000 で要求されている製品寸法・機械的性質・化学成分の規格値を満たしております。」

2. 変更時期

2024年1月15日以降、製造完了する板製品より適用いたします。

3. 検査成績表記載変更の理由

当社では板製品用のスラブとして合金種5052および1050の一部を海外から購入し使用しております。この化学成分については、個々に定められた規格に基づいて試験・検査が実施され、当社の検査成績表にはこの分析データを記載しておりました。

一方、JIS H 4000では、この引用規格であるJIS H 1305に基づいて化学成分の測定をすることが要求されているため、今回検査成績表の補足説明を変更すべきと判断し、検査成績表欄外の補足説明を変更させていただくことに致しました。

なお、対象海外購入スラブ以外の自社製造スラブは、JIS H 1305に基づいて正しく測定されておりますが、当対象製品も含め変更をさせていただきます。

4. 海外購入スラブの化学成分分析

購入先で個々に定められた規格に基づいて試験・検査が実施されているのに加え、日本軽金属グループで、各購入先鑄造品のサンプリングによる化学成分分析を実施し、分析値に差が無いことを確認しております。このため、製品の安全性に影響は無いと判断しております。

5. 今後の対応について

名古屋工場のJIS再認証活動の中で、海外購入スラブに関しても、JIS H 1305 適合した試験・分析方法にて、検査成績表に分析値を記載できるよう、是正活動を既に進めており、2024年4月には是正完了させる計画です。

以上

(ご参考)

<質別 TX51 を除く製品>

現行「規格欄：シャナ付カ(*)」検査成績表

受発番		規格	品名	製品寸法(mm)	分類・寸法
0001		シャナ付カ(*)	5052	5,000 X 1,920,00 X 3050	6000

検査成績表

検査項目	検査結果	検査方法
機械的性質		
化学成分		
製品寸法		
引張試験		
化学成分		

シャナ付カ(*)に変更しております
欄外に(*)本製品は JIS H 4000 に定める正しい方法で試験し、JIS 規格値をみたしております。と表記していました。

欄外補足説明変更

(*)本製品は、JIS H 4000 に定める正しい方法で試験し、JIS 規格値を満たしております。

欄外補足説明変更

(*)本製品は、JIS H 4000 で要求されている製品寸法・機械的性質・化学成分の規格値を満たしております。

<質別 TX51 の製品>

現行「規格欄：シャナ付カ(*)」検査成績表

受発番		規格	品名	製品寸法(mm)	分類・寸法
0001		シャナ付カ(*)	6061-T851	20,000 X 1,100,00 X 2945	6000

検査成績表

検査項目	検査結果	検査方法
機械的性質		
化学成分		
製品寸法		
引張試験		
化学成分		

シャナ付カ(*)に変更しております
欄外に(*)本製品は JISH4000 に定める正しい方法で試験し、質別を除く、製品寸法・引張試験・化学成分の規格値を満たしております。と表記していました。

欄外補足説明変更

(*)本製品は、JIS H 4000 に定める正しい方法で試験し、質別を除く製品寸法・引張試験・化学成分の規格値を満たしております。

欄外補足説明変更

(*)本製品は、JIS H 4000 で要求されている質別を除く、製品寸法・機械的性質・化学成分の規格値を満たしております。

2023年12月13日

白銅株式会社 御中

アルミ押出製品 材料検査成績書記載内容の一部変更について

日本軽金属ホールディングス株式会社
製品安全・品質保証統括室

日軽金アクト株式会社

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、弊社を含め当グループ関連会社の押出加工の原材料として購入しているピレットの一部について、成分分析方法がJIS H 1305に適合していないという、日本軽金属ホールディングス株式会社の指針が出されました。つきましては材料検査成績書の記載について以下の通り変更する旨ご連絡申し上げます。

貴社をはじめ関係先の皆様に多大なご迷惑とご心配をおかけすることとなり深くお詫び申し上げます。

1. 材料検査成績書の変更する記載内容

1) 日軽新潟及び日軽蒲原製造の押出形材

現行：規格欄 「社内規格」

材料検査成績書欄外 「(*) 本製品は、JIS H4100*¹ に定める正しい方法で試験し、JIS 規格値を満たしております。」

変更：規格欄 「社内規格」

材料検査成績書欄外 「(*) 本製品は、JIS H4100*¹ で要求されている製品寸法・機械的性質・化学成分の規格値を満たしております。」

2) 理研軽金属工業製造の押出形材

現行：規格欄 JIS 規格番号表示 (例) 「JISH4100」

材料検査成績書欄外 記載無し

変更：規格欄 「社内規格」

材料検査成績書欄外 「(*) 本製品は、JIS H4100※¹で要求されている製品寸法・機械的性質・化学成分の規格値を満たしております。」

なお、上記対象拠点全ての押出型材の材料検査成績書の記載内容を変更いたします。

※1：代表例としてJIS H 4100 を記載しておりますが、JIS H 4040 、JIS H 4080 が該当する製品もございます。

2. 変更時期

日軽新潟、理研軽金属 : 2023年12月7日発行分の材料検査成績書より

日軽蒲原 : 2024年1月1日発行分の材料検査成績書より変更を予定しております

3. 材料検査成績書表記載変更の理由

当社では押出型材用のビレットとして、海外を中心とした外部購入品も使用しております。この外部購入ビレットの化学成分については、個々に定められた規格に基づいて試験・検査が実施されており、この分析データを材料検査成績書へ転記しておりました。一方で、押出型材のJISの引用規格であるJIS H 1305に基づいて測定することが定められており、材料検査成績書の表記に関し、日本軽金属ホールディングスより変更すべきとの指針が出された事により、材料検査成績書の記載に関し、変更させていただくことに致しました。

4. 外部購入ビレットの化学成分分析

ビレットは購入先で個々に定められた規格に基づいて試験・検査が実施されております。また、日本軽金属グループとして、年1回、各購入先のビレットのサンプリング分析を実施しており、日本軽金属グループ内での差が無いことを確認し、製品の安全性に影響は無いと判断します。同材料を使用した押出型材においては、JIS で定められている検査方法で引張試験を行い、機械的特性を満足していることを確認しております。

5. 今後について

日本軽金属ホールディングス全体で、購入先ビレットの成分分析を含め JIS 適合に向けた体制を構築して参ります。JIS H 1305 に適合した試験・分析方法にて、材料検査成績書に分析値を記載できるよう、2024年4月末には是正完了させる計画です。

以上